

**J R 東労組の総団結を内外から破壊した蛮行を許さず、
全単組で組織破壊一掃のたたかいを J R 東労組と共に推し進めよう！**

J R 総連は 2018 年 10 月 26 日に開催した J R 総連第 5 回執行委員会において『真実の声』は組織破壊以外のなにものでもない」ことを確認し、合わせて加盟単組と J R 東労組 12 地本から「真実の声は組織破壊である」ことの見解が発出された。

『真実の声』はこれまでインターネット上で、J R 総連や J R 東労組、個人を誹謗中傷することを繰り返してきた。J R 総連は定期大会や中央委員会、ならびに様々な機関会議等で、「出所不明の『真実の声』は組織破壊であり、インターネットでの公開はやめるべきだ」と求めてきたが、やむことなく誹謗中傷は連日掲載された。

その組織破壊である『真実の声』の管理者（発信者）が明らかとなった。なんと J R 東労組中央執行部員の指定を受け、東京地方本部へ派遣され、東京地本の特別執行委員として企画部次長に就いている畠山浩信君であった。まさに J R 東労組の内部から J R 東労組破壊を繰り返し行ってきたのである。

J R 総連は、この J R 東労組運動の歴史上、類を見ない悪辣な行為を許さず、さらなる事実の解明を求め、組織破壊一掃に向けたたたかいを推し進めていく。

J R 東労組は 18 春闘以降、組織の存亡をかけ 12 地本の総団結でたたかい抜くことを確認してきた。畠山浩信君が内部から嘘と誤魔化しの『真実の声』を発信し続けてきた行為は、J R 東労組の総団結破壊であり、組織強化のために職場で組合活動を担ってきた役員・組合員への背信行為以外のなにものでもない。12 地本の組合員を欺き、裏切ってきたこの蛮行を J R 総連に加盟する単組、J R 東労組 12 地本は断罪し、組織破壊者と断固たたかい抜かなければならない。

J R 東労組は 8 月 22 日、第 3 回中央執行委員会を開催し、①畠山浩信君が全 12 地本で組織破壊と確認した『真実の声』に加担していたことは、組織破壊以外のなにものでもないこと、②畠山浩信君は J R 東労組に雇用されながら、J R 東労組の名誉を著しく汚し、社会的信用を失墜させ、機関役員として団結または統制を乱したこと、そのことにより中央執行部員の解除と東京地方本部に地本特別執行委員の解除を求めることを満場一致で確認し、指令 7 号（1. 畠山浩信君の中央執行部員を解除する。2. 東京地方本部に畠山浩信君の地本特別執行委員の任を解除することを求める。3. 畠山浩信君に「真実の声」の閉鎖を求める。4. 中央本部は畠山浩信君に対して、雇用と勤務に関する規則第 25 条 2 項に基づき、2019 年 8 月 23 日から懲戒処分決定まで出勤停止を命ずる。5. 12 地方本部は指令の内容を全組合員へ周知し、組織破壊を許さない体制を構築すること。）を発出した。

J R 総連と加盟単組は、J R 東労組と共に J R 総連、J R 東労組破壊を繰り返してきた蛮行を許さず、J R 東労組の前進をかちとるために、共にたたかい抜くものである。J R 東労組の 12 地本総団結のたたかいを支え、さらなる総団結を創りだしていこう。

2019 年 8 月 23 日

J R 総連執行委員会